



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

2017年
8月6日号

ご意見・ご要望を
お聞かせください

発行/日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP http://jcp-kagoshima.com
Facebookページ『日本共産党鹿児島県議団』への「いいね!」をお願いします。



7月には、鹿児島市で震度5強の地震が発生し、川内原発の安全性について、改めて不安な思いを感じた方も多かったのではないのでしょうか。

6月議会では、私は一般質問ができませんでしたが（3月議会と9月議会に限られています）、川内原発についての三反園知事の現在の見解と、常任委員会（文教警察委員会）で取り上げた問題の一部について、紹介いたします。

川内
原発

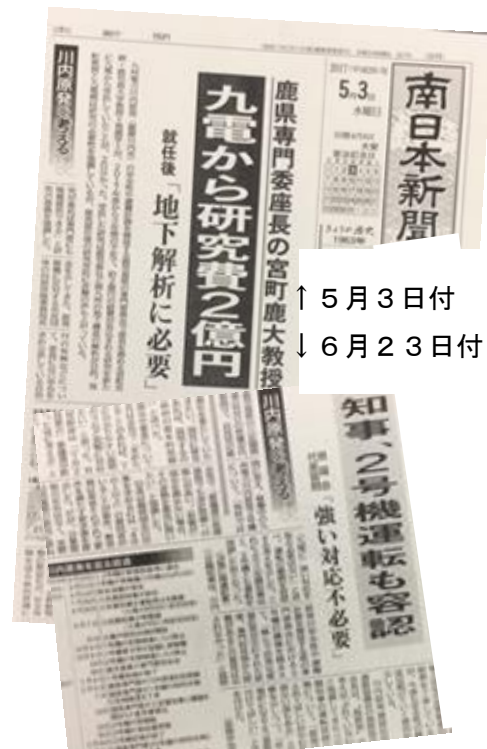
福島原発事故の現状を直視し 県民のいのちと暮らしを守る判断を！

三反園知事は、マニフェストに掲げていた「原子力安全専門委員会（略）」を設置し、これまで4回の委員会が開催されてきました。しかし、5月になって、専門委員会の座長である宮町鹿児島大学教授が、九州電力から2億円の研究費を受けることが明らかになりました。知事は、そのことを事前に承知しながら、委員を委嘱していました。川内原発の安全性について検討する委員として、ふさわしいのか大いに疑問です。

その後、専門委員会から「意見書」が知事に提出されました。その内容は「①川内原発2号機は熊本地震の影響はなかった。②2号機の定期点検は特段の問題はなかった。」というものです。

知事は、これを受けて「専門委員会が『問題ない』ということだったので、九電に対して強い対応を取る必要はない」と判断しました。

まつざき県議は、3月議会でも、知事に対して、専門委員会に丸投げするのではなく、「政治家として、福島の原発事故の現状を直視し、原発はどういうものであるか、事故がどういう事態を招くのかということを考え総合的に判断すべき」と要請していました。今後も、この姿勢を求めていきたいと考えます。



文教警察委員会

アンケート表の抜粋。質問事項には「あなたは、部活動の顧問が顧問ですか。」、「それはあなたの希望ですか。」、「担当している部活動は、得意分野ですか。」、「部活動は楽しいですか。」などがある。

桜丘養護学校の高等部の設置と鹿児島市南部への移転を要望

まつざき県議は、桜丘養護学校の実態を調査し、児童生徒数の増加で教室も不足し、グラウンドや体育館などの施設が手狭になっていること、また、高等部がないために、長年にわたってマンモス化が課題となっている武岡台養護学校高等部に通わなければならないことなどを指摘し、桜丘養護学校に高等部を設置し、鹿児島市南部へ移転することを要望しました。

中学校における部活動の在り方と顧問教師の負担軽減を要望

まつざき県議は、中学校の現職教師にアンケートを実施し、部活動顧問の活動の実態について、委員会で明らかにしました。全員が顧問となることになっている学校も多数ある中で、苦手な競技の部活を受け持ち、土日もなく練習や試合があり、苦痛を感じながら、それでも懸命にがんばっている様子を紹介しました。

今、文部科学省でも、部活動のあり方について検討が行われていますが、何よりも、先生たちが、元気に、子どもたちにとってわかりやすい授業を準備する物理的時間と精神的余裕を保障できる環境を整えることを県教委に要望しました。

独自にとったアンケート

